

地域経済密着活性化企業 (愛工房株式会社)

＜法人の概要＞

所在地：愛媛県宇和島市吉田町

設 立：平成21年 2月

資本金：9,500万円 売上高：63,700万円（平成26年）

（うち農業：0万円、うち農業関連事業：63,700万円）

（加工原料として自家消費）

役 員：4名（うち農作業従事1名）

従業員数：55名、うち農業従事者11名

経営面積： 2.12ha 営農作物：柑橘



果樹消毒状況



蜜柑生育状況

＜農業参入に至った経緯・動機＞

当社は宇和青果農協より加工部門を買収し、農産物の製造・販売を行っている。

しかしながら、近年、農業を取り巻く環境は、高齢化はもとより後継者の激減等、生産量が年々減少しており、柑橘生産地として原材料の確保が非常に厳しく、将来的に農産物の加工企業として生き延びることが可能であるかと危惧を強く感じ、最低限の加工原料確保を目指し農業参入に踏み切った。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

蜜柑廃園地、耕作放棄園地を行政や地元関係者との情報交換等により、蜜柑園地を地主より借り受けた。特に、園地内スプリンクラー等の施設利用については、作業の効率化を図る上で必要不可欠な施設であり、地元関係者とは密に連携を取りながら協働作業を行った。農作業を行う上で、運搬車（軽トラ2台）、作業車（軽トラ1台）、選果機2台、草刈機5台を整備（補助は使わず）。

果樹は現状のものに手を入れ良質な蜜柑を生産するために、役員1名が生産技術指導を行い、社員11名で園地管理等を行う等、規模拡大に備えて農作業に取り組んでいる。

<営農開始から現在まで>

生産・収穫された蜜柑は、自社工場にて加工を行い、付加価値を付けて販売を行う。柑橘類を自社生産することにより、加工原料の供給の安定化が図れることが、製造計画、並びに販売計画の安定化に繋がり、将来を見据えた経営に取り組むことができる。

特に独自の技術もなく、他の指導も受けていないが、園地指導講習等に参加し、地域に密着した園地経営者として、地域生産者と情報の交換等を密に取り合い、今後、耕作放棄地についても条件等が折り合えば、積極的に柑橘類の栽培に取り組んでいきたい。また、作業員も地域から優先的に採用し園地管理、加工業務等に就業していただき、地域の工房として知名度向上にも合わせて図りたい。

<今後の農業経営の展開方向>

原料の安定供給が順次進み、更に品質が向上すれば、売上の向上につながり、売上に応じて会社経営を拡大を図る。

また、自社生産だけでは加工原料が不足している状況であり、現在ＪＡと農家から購入している加工原料の仕入れ量の増大に取り組み、みかん出荷調整の受け皿として地域の貢献する。

販路の確保・拡大については、企業努力はとより、地域の工房として愛媛県産ブランドを全面に掲げるとともに、常に、新たな技術、発想で取り組みたい。

しかしながら、みかん栽培が基幹産業であるこの地域において、搾汁・缶詰施設等を有する当社は、施設の老朽化を含め、消費者ニーズに即した新製品づくりに対応できる施設の改修、並びに整備が望まれている。

愛媛みかんの発祥の地吉田町で搾汁・缶詰施設等で製造販売を行っている唯一の企業として、ぜひとも関係機関の御支援をいただき、施設の刷新を図り、地域と共に歩み、地域の皆様の信頼に応え、地域の貢献することができる工房として、積極的な事業展開を図っていきたい。



園地管理作業車



運搬車